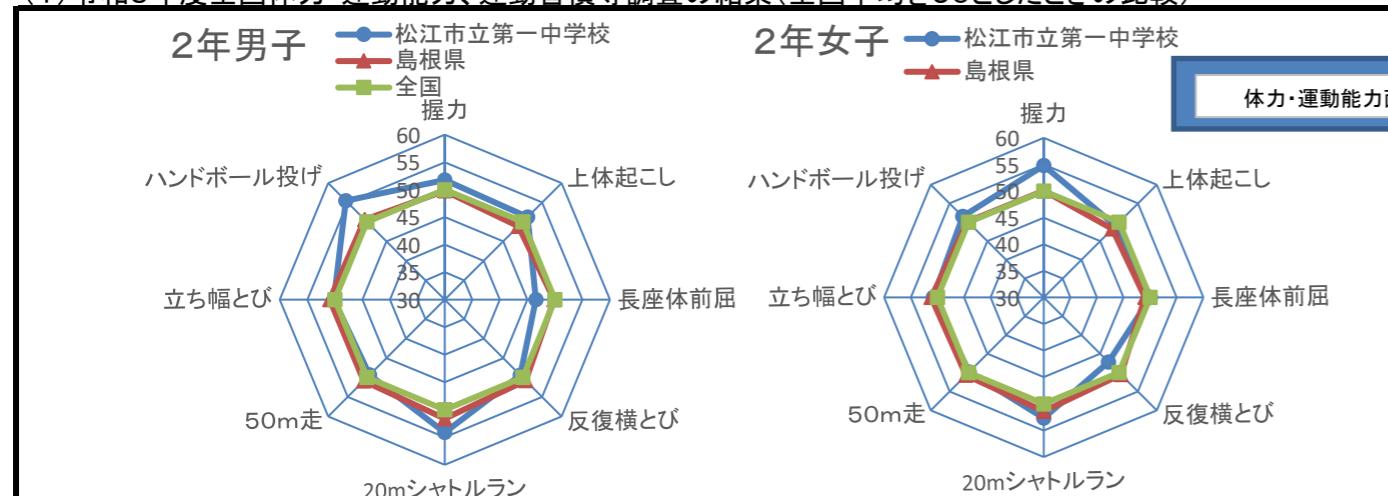


令和3年度 体力・運動能力調査結果及び分析・対策

令和4年3月29日

松江市立第一中学校

(1)令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)

(2)調査結果の分析
①体力・運動能力面

(2)調査結果の分析

①体力・運動能力面

強み

○男子では「握力」「上体起こし」「シャトルラン」「立ち幅跳び」「ハンドボール投げ」が全国平均を上回っている。特に「全身持久力」が強み。
○女子では「握力」「長座体前屈」「シャトルラン」「立幅跳び」「ハンドボール投げ」が全国平均を上回っている。特に「筋力」「全身持久力」が強み

課題

- 男子では「長座体前屈」「50m走」が全国平均を下回り、特に「柔軟性」が課題。
- 女子では「上体起こし」「50m走」において全国平均を下回り、特に「筋持久力」「走力」が課題。

次年度の対策

保健体育授業の取り組み

- ・柔軟性を意識したウォーミングアップの実施。
- ・「走ること」を増やす取り組みを継続して行う。
- ・4月実施の新体力テストの分析を行い、自分の体力に合わせた計画を立てる。

②意識面

強み

○男子では「運動が好き」「運動部やスポーツクラブ以外で運動すること」「体力・運動能力の目標」の割合が全国平均よりも高い。
○女子では「運動が好き」の割合が全国平均よりも高い

課題

- 男子では「保健体育の授業は楽しい」の割合が全国平均よりも低い。
- 女子では「運動部やスポーツクラブ以外で運動すること」「保健体育の授業は楽しい」「保健体育の授業でたくさん動く」「保健体育の授業で自分の動きの質の向上を実感」の割合が全国平均よりも低い。

次年度の対策

保健体育授業の取り組み

- ・タブレットを活用し、スポーツをする」「見る」「支える」といった視点を生徒たちに実感させる授業展開を行う。
- ・「質の向上」を狙った単元計画や授業展開を進める。

(3)令和4年度の方針【学校全体での取組】

①体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について

- ・保健体育課教員の中で情報を共有したりT.Tを実施したりするなど生徒への支援体制は充実しておりR4年度も継続していく。
- ・定期的に集まり、授業の評価を行う。

②体育科授業の工夫・改善について

- ・タブレットの活用
 - 全員配備されたことで、自分自身やグループの出来をリアルタイムで確認することができるようになった。体力的な課題や運動に対する苦手意識のある生徒でも、客観的に分析をすることができる。動画や写真をヒントとして自分自身の活動に評価をし、改善していく姿を期待している。
 - また、二極化を防ぐためにもこのタブレットの活用は欠かせない。運動が苦手な生徒やケガの生徒もスポーツに参加し、分析し、アドバイスができるといった好循環を生むことができる。

・体力向上計画

- 週1回の体力作りは継続していく。ランキングを掲示することで、生徒の意欲は上がってきていた。その成果として女子駅伝チームは県大会3位の成績を残すことができた。
- 男女ともに「走ること」に対する抵抗感は薄ってきており、R4年度も継続していく。

③体育授業以外の活動の工夫について

- ・体育祭を学習発表の場と位置付けし、年間をとおしてダンス授業を行い、発表を行う。

④家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について

- ・地域の人材を生かす授業展開を検討する。

(2)調査結果の分析
②意識面